



ライフアカデミー連携事業

さと やま さと う み

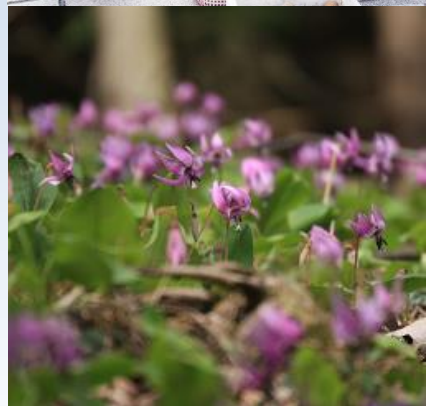
里山里海湖 リーダーズカレッジ 2017

～活かそう！里山里海湖の資源～

きっかけとして

新たなステップとして

自然と生きる活動者として



里山里海湖の保全・再生を考えましょう

参加者募集！

受講料無料

※講座ごとに申し込めます。

対象 福井県在住の方

日時 7月10日(月) 8月25日(金) 9月15日(金) 10月16日(月) 11月20日(月)
計5回 各日18:30～20:00

会場 AOSSA(アオッサ)福井市地域交流プラザ 6階研修室607
※福井市手寄1丁目4-1 JR福井駅東口徒歩1分

定員 70名(先着順)

お申込み・お問い合わせ

さとやまさとうみ

福井県里山里海湖研究所

三方上中郡若狭町鳥浜122-31-1

TEL 0770-45-3580 FAX 0770-45-3680

メール satoyama@pref.fukui.lg.jp

ホームページ http://satoyama.pref.fukui.lg.jp/



7/10

月

18:30~20:00

ヤマトシジミと里山・里湖の繋がり

シジミが生息する場所はヒトの生活と密接な関わりがあります。私たちは“しじみ”を単に食材としか見ていない。地球に生きるヒトとして、シジミの役割を考え、漁業の価値と役割を考えましょう。



学習院女子大学国際文化交流学部日本文化学科 教授
環境教育センター所長
一般社団法人フードコンシャスネス研究所 所長

品川 明

経歴: 東京大学大学院修了 農学博士
専門分野: 味わい教育(フードコンシャスネス教育)、感性教育、環境教育、海洋教育、体験型探究教育(答えを教えない教育)、水圏生物化学・生理生態学



8/25

ドイツのグリーン・ツーリズム

18:30~20:00

～里山の利用につながる共通点～

農業生産性の低さを補う手段として、ドイツのバイエルン州の中山間地域で始まったグリーン・ツーリズム。発展の歴史や経緯から日本の里山の利用につながる共通点を探ります。

国際環境NGOバードライフ・インターナショナル東京

代表 **鈴江 恵子**



9/15

海・里・山 地球史と人類史

18:30~20:00

永く永く続く生命の営みの断片が、海・里・山を通じて、思った以上に、私たちの生活に密接に織り込まれています。今後、人間がどのように海・里・山と関わっていくべきなのかを提言したいと思います。

株式会社オークヴィレッジ 会長
正プラス株式会社 代表取締役

稲本 正



10/16

最近の旅行者行動と“選ばれる”ための地域の魅力づくり

18:30~20:00

情報化社会の中で多様化する人々の価値観や行動をデータや事例から把握するとともに、地域の自然や生活文化の魅力を新たにとらえ直し、外部に伝える方法を提案します。

株式会社JTB総合研究所
執行役員企画調査部長

波瀲 郁代



11/20

「木を使い切る」真庭の取組みについて

18:30~20:00

『木を使い切る』岡山県真庭市での木質バイオマスの取組み、日本の林業を変える新しい建築材料CLTの海外の実例や日本の現状などを紹介します。

銘建工業株式会社 代表取締役社長
NPO 法人21世紀の真庭塾 代表

中島 浩一郎



受講申込書 << FAX:0770-45-3680 >>

※は必須記入項目

(ふりがな)	()	所属	
氏名※	(男・女)		
住所※	〒		
電話番号※	メール アドレス	メールでの情報発信(希望する・希望しない) ※今後、本講座等のメールでの情報配信を希望されるか否か○をつけて下さい	
受講申込欄※	1.全講座を申し込む		
	2.講座ごとに申し込む (7/10 8/25 9/15 10/16 11/20) 申し込む講座の日付に○をつけてください。		